

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		研究科造園学専攻			
科目名称	人間植物関係学特論Ⅰ							授業形態		講義	
科目コード	642587	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○	
担当教員名	林 典生								ICT活用	○	
授業概要	人と植物や緑との関わりを人間と植物とのかかわりの歴史や思想、福祉的発想、文学や芸術との関連も含む植物文化等の人と植物、自然、環境などとの様々な関わりを検討・解説を行う。 また、これらの検討・解説したことを踏まえ、多様な社会的課題に対し、他者にわかりやすく提案・実践できる知識と能力を習得する。										
関連する科目	同時に園芸福祉特別演習を履修するとともに、履修後に人間植物関係学特論Ⅱ、園芸福祉特論Ⅰ・Ⅱを履修すること										
授業の進め方 と方法	授業の流れは前半にテーマに関する配布資料等で人間と植物との関係にかかわる基本概念や基本知識を再確認するために講義を行い、後半に事前に指定した国内外の論文・書籍をまとめてきた課題を報告し、意見交換をするなどアクティブラーニング型の授業を行う。										
授業計画	1. ガイダンス 授業の進め方を説明するとともに、資料の読み方に関する講義を行う。 2. 人間植物関係学とは 日本国内外の人間と植物との関係を講義するとともに、事前に指定した資料をまとめて発表する。 3. 人間植物関係学における研究の動向 日本国内外の人間と植物との関係に関する研究動向を講義するとともに、事前に指定した資料をまとめて発表する。 4. 花の発見 花を贈る行為やいけばなの文化等を講義するとともに、事前に指定した資料をまとめて発表する。 5. 植物からのメッセージ 植物栽培前の植物と人間との関係や栽培植物の誕生等を講義するとともに、事前に指定した資料をまとめて発表する。 6. 天国と地獄の植物 模様等の植物と芸術・文学、植物と文化・思想等を講義するとともに、事前に指定した資料をまとめて発表する。 7. 薬用植物とハーブ 薬用植物と人間との関わり、ハーブの文化史等を講義するとともに、事前に指定した資料をまとめて発表する。 8. 味覚と嗅覚の喜び 味と香りの植物利用の歴史、お茶やコーヒー等の文化史等を講義するとともに、事前に指定した資料をまとめて発表する。 9. 食料としての作物 イネ科植物・マメ類・イモ類の文化史等を講義するとともに、事前に指定した資料をまとめて発表する。 10. 野菜と果物の博物誌 野菜と果物の起源、世界の野菜・果物の文化史等を講義するとともに、事前に指定した資料をまとめて発表する。 11. 植物加工のテクノロジー 藍染や柿渋等の植物の利活用の歴史等を講義するとともに、事前に指定した資料をまとめて発表する。 12. 木でつくる 木造建築や家具等の木と人の歴史等を講義するとともに、事前に指定した資料をまとめて発表する。 13. まちと緑 イチヨウ等の樹木の文化史等を講義するとともに、事前に指定した資料をまとめて発表する。 14. 種の多様性を守る 植物と自然等を講義するとともに、事前に指定した資料をまとめて発表する。 15. 地域文化と植物 祭りと植物、植物とことば等を講義するとともに、事前に指定した資料をまとめて発表する。										
授業の到達目標	1. 人間と植物との関係を理解している。【教養・専門分野の知識・理解】 2. 植物や緑の多面的側面について評価できる。【教養・専門分野、数量的スキル、情報リテラシー、論理的思考力、問題解決力のスキル向上】 3. 既往の研究や事例から正確な情報を把握できる。【教養・専門分野の知識・理解】【教養・専門分野、数量的スキル、情報リテラシー、論理的思考力、問題解決力のスキル向上】 4. 植物と緑との関係をわかりやすく伝えることが出来る。【教養・専門分野、数量的スキル、情報リテラシー、論理的思考力、問題解決力のスキル向上】【自己管理能力、チームワーク・リーダーシップ、倫理観、市民としての社会的責任、生涯学習力の態度・志向性の涵養】 5. 人と植物や緑の関係を活用する方法の提案ができる。【統合的な学習経験と創造的思考力の養成】										

学位授与の方針 (DP)との関連	1.知識・技能と教養-(1)食・緑」の専門分野における高度な知識・技能／1.知識・技能と教養-(2)未知問題解決のために知識・技能を創造的に活用できる。／2.人間力・社会性・国際性-(1)豊かな個性を発揮して課題を発見し、探求することができる。／2.人間力・社会性・国際性-(2)課題を広い視野で捉え、客観的に評価ができる。／2.人間力・社会性・国際性-(3)主体性を持って多様な人々と協働し、課題解決ができる。／2.人間力・社会性・国際性-(4)自分の文化や異なる文化を理解でき、文化を超えて交流できる。
授業時間外学習【予習】	1回目の授業で示す参考図書など、主に基礎的な人間植物関係論に関する資料を授業前に読む。授業後に理解が曖昧な時は再度精読する。また、人間と植物の関係についての知見を深め、社会的意義を理解するために、身近な地域に赴き、その実態や位置づけなどについて考察を深める。2時間程度必要です。
授業時間外学習【復習】	1回目の授業で示す参考図書など、主に基礎的な人間植物関係論に関する資料を授業後に理解が曖昧な時は再度精読する。また、人間と植物の関係についての知見を深め、社会的意義を理解するために、身近な地域に赴き、その実態や位置づけなどについて考察を深める。2時間程度必要です。
課題に対する フィードバック	課題等は確認した後に返却します。必要に応じてコメントします。
評価方法・基準	受講態度や発表、報告物に関して、課題の理解、関係資料の活用、論点の整理、独自の視点について毎回のプレゼンテーションレポート(100%)で評価する。
テキスト	関連書籍及び関連論文
参考書	授業中に紹介するが一例として、以下の書籍を紹介する。 堀内昭作編(1996)世界の梅・日本の梅.養賢堂(都城キャンパスに所蔵有) 小原二郎(1984)日本人と木の文化.朝日新聞社
備考	近畿圏内の複数の医療・保健・福祉・生涯学習の現場での勤務(社会福祉士・精神保健福祉士と中学校・高等学校教員免許に基づいて)やボランティア活動のなかで園芸療法・福祉の実践を行ってきた。現在も都城地区周辺を中心に実践や人材育成を行っており、それに基づいて授業内容に反映させる。